

# 公衆衛生看護管理論

[講義] 1年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○佐藤美由紀[sato\_m@hoku-iryo-u.ac.jp]  
 明野聖子 [naga-s@hoku-iryo-u.ac.jp]  
 山田拓 [yamada\_k@hoku-iryo-u.ac.jp]

## 【概要】

住民の健康を守るための公衆衛生看護管理の理念と方法を学ぶ。公衆衛生看護管理の機能として、事例管理、地区管理、事業・業務管理、組織運営管理、予算管理、人材管理、情報管理、健康危機管理を学修し、保健師に求められる看護管理の特徴を理解する。健康危機管理においては、災害、感染症、虐待などの健康危機発生時に住民の健康被害を最小限にするための公衆衛生看護活動のあり方と具体的な方法を学ぶ。

## 【学修目標】

1. 公衆衛生看護管理の機能と保健師の役割を説明できる。
2. 具体的な事業立ち上げのプロセスを説明できる。
3. 災害サイクルに応じた活動展開を説明できる。
4. 地域での感染症予防対策の在り方と具体的方法を説明できる。
5. 虐待に関する公衆衛生看護活動の具体的方法を説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	公衆衛生看護管理の概論	公衆衛生看護管理の目的、方法、機能を理解し、保健師に求められる役割を探求する	佐藤
2~3	公衆衛生看護管理の要素(1)(2)	事例管理、地区管理、事業・業務管理、組織運営管理、予算管理、人材管理、情報管理の特徴や具体例をプレゼンテーションし、ディスカッションする	佐藤
4	健康危機管理(1)	健康危機管理の定義と組織体制を整理する	明野
5	健康危機管理(2)	災害時の公衆衛生看護活動の位置づけと災害サイクルに応じた展開方法を学ぶ	明野
6~7	健康危機管理(3)(4)	災害時の公衆衛生看護活動の具体例から、保健師に求められる役割や機能、活動のあり方をディスカッションする	明野
8	健康危機管理(5)	結核に対する公衆衛生看護活動を学ぶ 結核の基本知識、結核対策の変遷、結核患者の支援	佐藤
9	健康危機管理(6)	結核の発生事例をもとに、支援のあり方と具体的な支援方法について検討する	佐藤
10	健康危機管理(7)	ノロウイルス・0157に対する公衆衛生看護活動を学ぶ	佐藤
11	健康危機管理(8)	集団の感染症発生事例をもとに、支援のあり方と具体的な支援方法について検討する	佐藤
12	健康危機管理(9)	アウトブレイク発生時における疫学調査とリスクコミュニケーションの実際からアウトブレイク時のリスクマネジメントを学ぶ	山田
13	健康危機管理(10)	虐待に関する公衆衛生看護活動の展開方法を学ぶ 要保護児童対策協議会、児童相談所との連携、地域での支援体制	明野
14	地域ケアの質の保証(1)	政策・施策と関連付け、公衆衛生看護活動の事業化のプロセスを具体例から学ぶ	佐藤
15	地域ケアの質の保証(2)	地域のケアシステムをマネジメントする公衆衛生看護の役割を学ぶ	佐藤

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

## 【アクティブ・ラーニング】

## 導入している

### 【評価方法】

プレゼンテーション(40%)、ディスカッション(30%)、課題レポート(30%)により評価する。

### 【教科書】

標美奈子他編著：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論、医学書院  
中谷芳美他編著：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院

### 【参考書】

岡本玲子他編著：公衆衛生看護学テキスト 第3巻 公衆衛生看護活動、医歯薬出版株式会社  
佐伯和子他編著：公衆衛生看護学テキスト 第2巻 公衆衛生看護の方法と技術、医歯薬出版株式会社  
岸恵美子他編著：保健学講座 公衆衛生看護支援技術、メヂカルフレンド社  
國井修編：災害時の公衆衛生 私たちにできること、南山堂  
國井 修他編：みんなで取り組む 災害時の保健・医療・福祉活動、南山堂  
尾崎米厚他著：アウトブレイクの危機管理：新型インフルエンザ・感染症・食中毒の事例から学ぶ、医学書院  
谷口清州監修：感染症疫学ハンドブック、医学書院

### 【備考】

Google Classroomを活用して課題や資料を提示する。

### 【学修の準備】

- 1) 提示された課題を実施する。
- 2) 指定された文献は、授業内容および学修課題に沿って熟読する。

### 【学修方法】

第1回は講義、第2・3回は学生が公衆衛生看護管理の各要素を調べ、保健師が活動を展開するうえで求められる機能と役割についてプレゼンテーションし、ディスカッションする。第4・5・6・8・10回は健康危機管理として、災害、感染症、虐待を取り上げる。第9・11回は事例検討により、感染症の発生に対する公衆衛生看護活動のあり方や具体的な支援方法を学ぶ。第7・15回は活動の実際に関する文献を熟読し、健康危機管理の側面から、支援のあり方、組織として求められる役割と機能についてプレゼンテーションし、ディスカッションを通して学ぶ。

### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。